

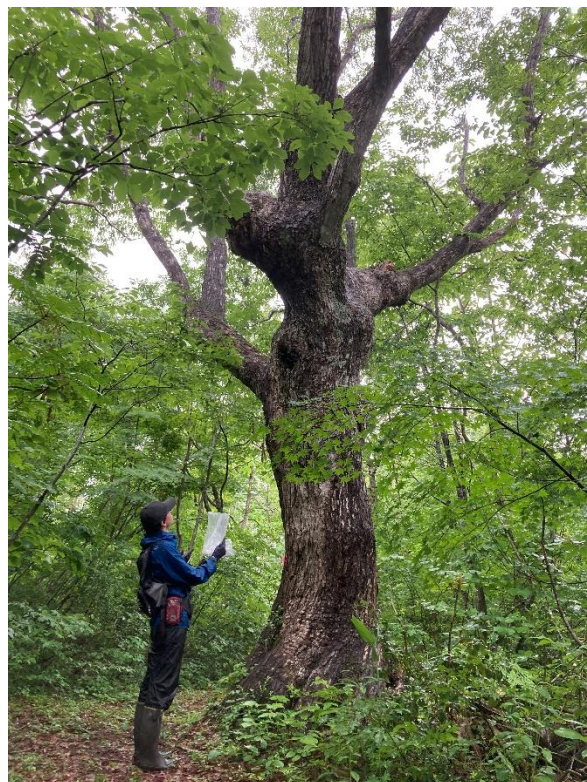
【只見町】

2021 年度 ユネスコエコパーク関連事業

## 黒沢薪平のあがりこ型樹形コナラ巨木群の保全（ナラ枯れ防除）を実施！

只見町黒沢区薪平には、薪材生産を目的とした雪上伐採の結果形成された全国的にも珍しいあがりこ型樹形コナラの巨木群が存在します。“あがりこ”とは、一般に、東北地方の多雪地帯を中心に見られる人為的に形成されたブナの独特の樹形を指します。その樹形は、幹の地上 2~3m のところで幹が瘤状に肥大し太くなり、さらにそこから多くの幹が発生しています。このコナラ巨木群はナラ枯れ被害（カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によってナラ類、シイ・カシ類が集団枯損する被害）を受けており、只見町ブナセンターでは 2012 年から齊藤正一博士（山形大学農学部客員教授、只見 BR 支援委員会委員）に助言をいただきながら殺菌剤注入によるナラ枯れ防除に取り組んできました。それでも近年は枯死するコナラが散見されるようになり、齊藤博士に相談したところ、ナラ枯れの原因となるナラ菌がこれまで使用してきた殺菌剤に対する耐性を持ち始めている可能性があるとのことでした。そこで、2020 年 9 月、齊藤先生のご協力により新しい殺菌剤の効果試験を兼ねた殺菌剤注入作業を実施しました。従来使用してきた殺菌剤と新しい殺菌剤とで注入量を変えながら 50 本以上のコナラなどの樹木に薬剤注入しました。また、このときはこれまで殺菌剤注入時期として実施してきた春注入ではなく、春季の開葉時期と同時に殺菌剤の有効成分が樹幹内に行き渡ることが期待される秋注入としました。

2021 年は 6 月に新薬の薬害調査、9 月に効果調査のために処理木の生存確認調査を実施しました。結果、ほぼ全ての処理木の生存が確認でき、貴重なコナラ巨木群を保全することができました。残念ながら新しい殺菌剤は諸事情により開発が中止になってしまったとのことですが、只見町ブナセンターでは引き続きかつての森林利用を伝える「あがりこ型樹形のコナラ巨木群」の保全に努めていきます。



【担当】 只見町ブナセンター TEL 0241-72-8355

只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係 TEL 0241-82-5220